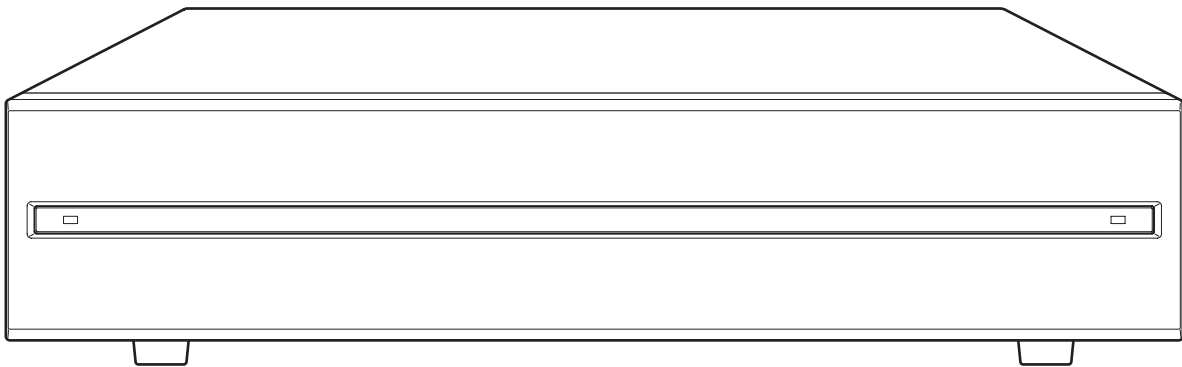
取扱説明書

増設ユニット
品番 VA-ZU1000

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく
お使いください。

VA-ZU1000

●製造番号は、品質管理上、重要なものです。
●お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

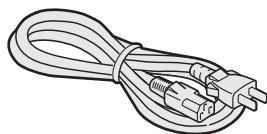
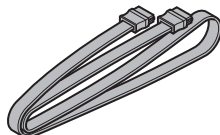
はじめに

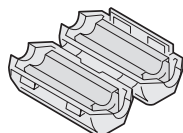
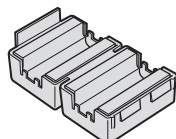
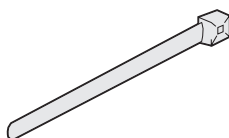
主な特長

■ **3.5インチS-ATAハードディスクを4台まで搭載可能**

付属品

下記の部品が入っているか確かめてください。

電源ケーブル

増設ユニット接続ケーブル（4 本）

スパーク防止用ケーブル（1 本）

フェライトコア（丸形）（8 個）増設ユニット接続ケーブル用

フェライトコア（四角形）（3 個）増設ユニット接続ケーブル用

フィクサー（1 本）

ケーブル固定用ブラケット（2 個）ネジ（8 本）

取扱説明書

目次

はじめに

使いかた

その他

著作権について

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

指をはさまれないよう注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は、指をはさまれないよう注意することを意味します。）

分解禁止

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は、分解禁止を意味します。）

電源プラグをコンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■キャビネットのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き柔らかい布で汚れを軽くふき取る。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる。

注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■長時間使用しないとき

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

⚠警告

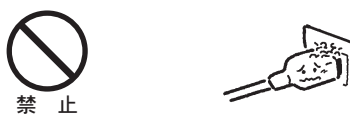
■ **煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない**

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、
お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■ **電源コードを傷つけない**

●付属の電源コード以外は使用しないでください。
●電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
（電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店または工事店に交換をご依頼ください。）

■ **電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない**

●ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
●湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
（定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。）

■ **電源コード接続時の注意**

●電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
●電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。

■ **キャビネットを外したり、改造しない**

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

■ **接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない**

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ **ぬらさない**

ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場では使用しないでください。

■ **雷が鳴り出したら使わない**

電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■ **不安定な場所に置かない**

●落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
（万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。）

■ **電源電圧100V以外の電圧で使用しない**

火災、感電の原因となります。

■ **国外では使用しない**

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

⚠注意

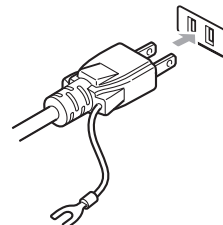
■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない**

必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ **ぬれた手で電源プラグをさわらない**

感電の原因となることがあります。

■ **電源コードのアース端子**

電源コードのアース端子は、アナログ機器などを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

■ **設置場所の注意**

●湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所には置かないでください。
　火災、感電の原因となることがあります。
●磁気を持っているものの近くや、直射日光が当たる場所、熱器具の近くには置かないでください。事故、故障の原因となることがあります。

■ **通風孔をふさがない**

専用ラック以外の風通しの悪い狭い所に入れたり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりして通風孔をふさがないでください。
また、壁や家具などに密接して置かないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

■ **上に乗らない**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ **コード類は正しく配線する**

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。
足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ **接続する機器の上に重いものを置かない**

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。

■ **持ち運びの注意**

電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外したことを確認のうえ、おこなってください。
電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となることがあります。

■ **お手入れの際、長期間使用しない場合の注意**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ **内部の掃除について**

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

使用上のお願い

ハードディスク内蔵機器に対する取扱注意事項

本機の操作や設置、サービスを行うときは以下の事項に留意し、慎重に取り扱ってください。

■ 衝撃、振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障、あるいはハードディスク内のデータが破損する恐れがあります。

- 通電中は本機の移動は行わないでください。ラックなどからの出し入れも必ず電源を切った状態で行ってください。
- 本機を搬送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。また、搬送は振動の少ない方法で行ってください。
- 本機を床などに置くときは、底に指定の足がついている状態で静かに降ろしてください。

■ 電源 OFF 後の 30 秒間は動かさない

電源 OFF 後もしばらくはハードディスクのディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。
この期間は通電中以上に衝撃、振動に弱い状態です。電源 OFF 後 30 秒は軽い衝撃も与えないように注意してください。

■ 結露状態で動作させない

本機に結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。
急激な温度変化があった場合は、十分に温度が安定するまで待ってから動作させてください。

■ ハードディスク交換時の注意

ハードディスクの交換は交換手順に従って行ってください。

- 梱包していないハードディスクは衝撃、振動が加わると故障する恐れがあります。プリント基板面を上にし、水平にしてやわらかいものの上に置くことを推奨します。
- ハードディスクの交換作業でねじの締め付けや取り外す際は、衝撃、振動を与えないように作業をしてください。
  ねじの締め付けはゆるまないようにしっかりと行ってください。
- ハードディスクは静電気に弱いので必ず静電対策を行って作業をしてください。

■ ハードディスク単体の取扱注意

ハードディスク単体を輸送、保管する場合は必ず指定の梱包材料で行ってください。
また、輸送時はハードディスクにかかる振動の少ない方法で行ってください。

設置場所の注意

ハードディスクには振動、衝撃を与えないでください。さらに、ほこりの多い場所、磁気を帯びた物に近い場所での使用を避けてください。録画したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に注意してください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 録画や再生中は、コンセントを抜いたりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時 10 ℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- 温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 常に振動を伴う車・列車などには設置しないでください。
- 本機には左側面、後面および底面に通気孔がありますので、本機を設置する場合は、通気孔を塞がないでください。
- 本棚や箱の中など通気性が悪くなる環境での使用は避けてください。
- 本機は横置き型です。縦置きで使用すると故障の原因となります。
- ラックに設置する場合は、上下 1cm、左右後 5cm 以上のスキマを開けてください。

ハードディスクと放熱ファンは消耗品です

周囲温度 25 ℃の使用条件で、ハードディスクは 2 年、放熱ファンは 3 年を目安に交換してください。この年数はあくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。
また、ファンに異常が起きたときは、ファン異常ランプの点滅でお知らせします。

大切な記録の場合

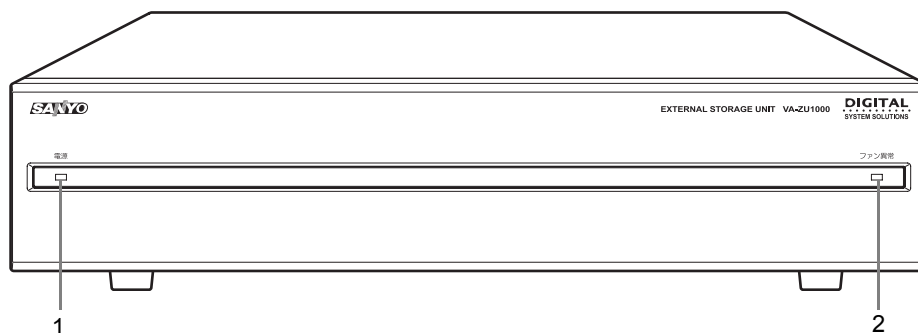
- 必ず事前に録画を行い、正常に再生されることを確認してください。
- 本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により録画されなかったり、正常に再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- 万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとるか、ミラーリングをお勧めします。

ハードディスクの保護

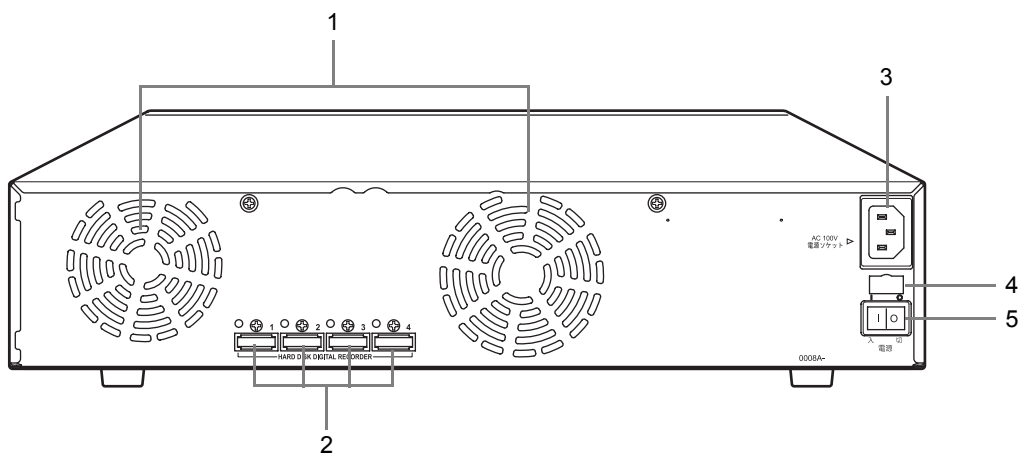
電源を入れると、自動的にハードディスクをチェックします。ハードディスクに異常が発見されると、DVRのERRORランプが点滅します。ハードディスクを初期化するか映像の保管が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用可能なハードディスクについて

弊社推奨のハードディスクをお使いください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

前面パネル

1. 電源ランプ
電源を入れるとランプが点灯します。

2. ファン異常ランプ
ファンに異常がある場合、ランプが点滅します。

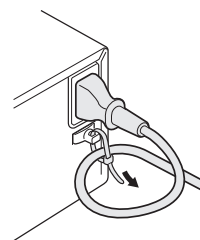
後面パネル

1. FAN

2. 増設ユニット端子
付属品の増設ユニット接続ケーブルで、DVR 本体と増設ユニットを接続するときに使用します。

3. 電源ソケット
付属の電源ケーブルを電源ソケットにしっかりと差し込んでください。

4. 電源コードホルダー
付属のフィクサーで図のように電源コードホルダーに固定してください。

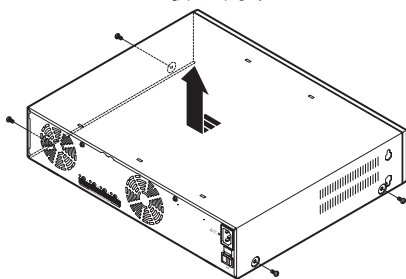
5. 電源スイッチ

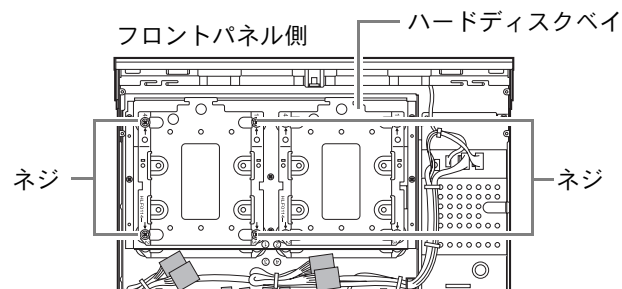
1 ハードディスクの取付けかた／ DVR との接続

ハードディスクの取付けかた

ハードディスクを増設ユニットに取付ける方法について説明します。

ご注意

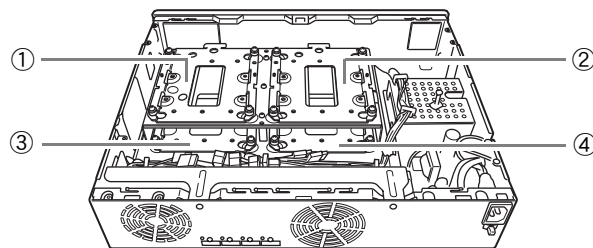
- この作業は必ず増設ユニットの電源を切った状態でおこなってください。
- 当社が供給しているS-ATAハードディスクをご使用ください。それ以外のハードディスクを使用された場合は、動作保証できません。詳しくは販売店にご相談ください。

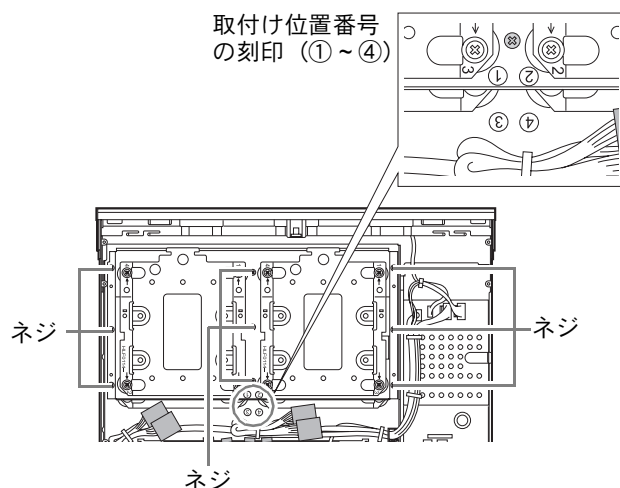
1 カバーをとめているネジ4本(左右各2本)を外し、カバーを取り外す

2 ハードディスクベイを外す

ネジ 4 本（左右各 2 本) を外し、取付けブロックの上のハードディスクベイを外します。

ご注意

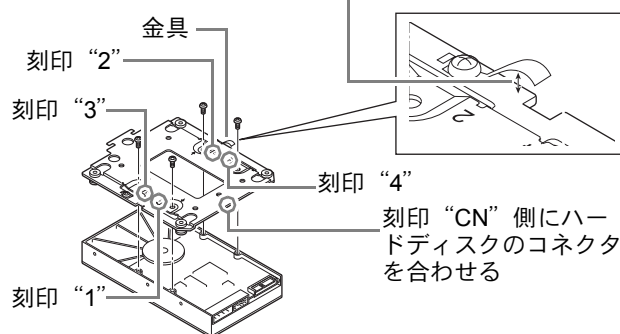
- ハードディスクを増設する台数によって、取付ける位置が決まっています。ハードディスクベイの近くに、番号が刻印されていますので、以下の指示にしたがってください。

取付台数	取付け位置	取付台数	取付け位置
1 台	①	3 台	①、②、③
2 台	①、②	4 台	①、②、③、④

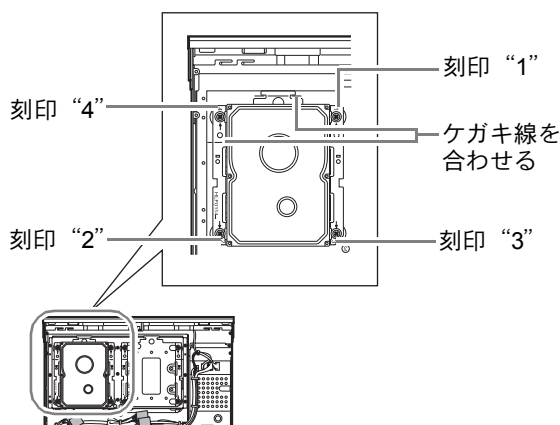
- 取付け位置は、以下の通りです。

- ③④へ取付ける場合は、取付けブロックを取り外した後、ハードディスクベイを外してください。

[取付けブロックの取り外し方法]
(1) ネジ 9 本を外す。
(2) 前側中央部を後面パネル側へスライドさせながら、ハードディスク取付けブロックを取り外す。

取付けブロックの取付け方法については、[取付けブロックの取付け方法] を参照してください。(→P.10)

3 増設するハードディスクに、手順2で外したハードディスクベイを取付ける

ハードディスクベイに刻印された 1 ～ 4 の順番にネジを締め付けます。

※ 締め付けトルク：0.5N・m ～ 0.6N・m（5 ～ 6kgf・cm）
非空転式トルクドライバを使用すること。

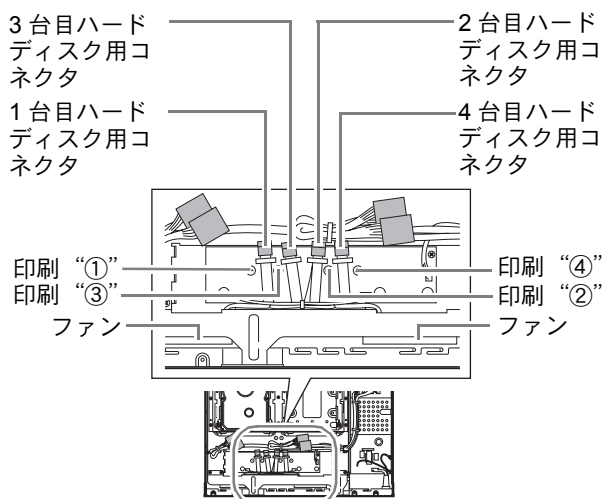
4 手順 3 でハードディスクを取付けたハードディスクベイを、増設ユニットに取付ける

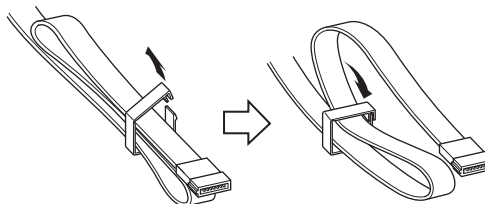
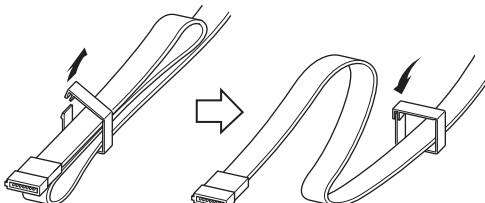
ハードディスクベイに刻印された 1 ～ 4 の順番にネジを締め付けます。

※ 締め付けトルク：0.6N・m ～ 0.7N・m（6 ～ 7kgf・cm）

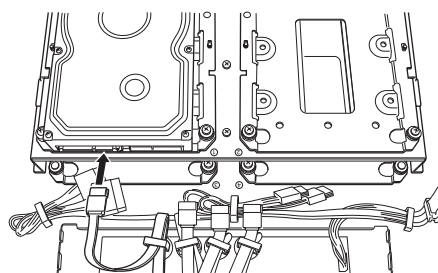
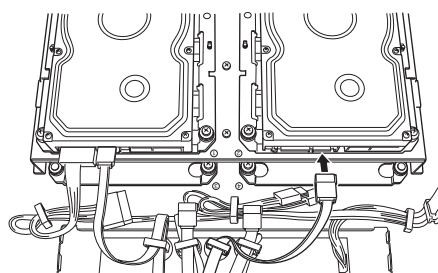
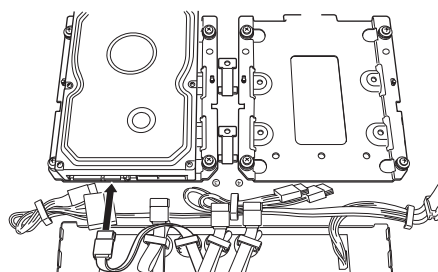
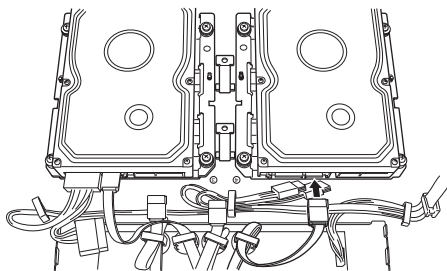
5 ハードディスクにケーブルを接続する

(1) ハードディスクが取付けられたハードディスクベイと同じ番号のケーブルを選び、固定しているクランプを外します。

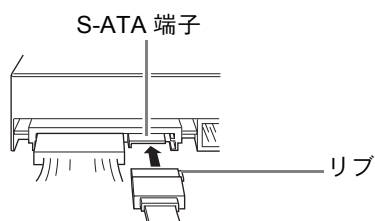
※ ケーブルの番号は各ケーブルの近くに印刷されています。

※ クランプ解除には、マイナスドライバーなど工具を使用してください。

(2) ケーブルがファンに接触しないように、再度クランプで固定します。固定する方法はケーブルの番号によって異なります。

①、④

②、③

[ケーブルの整形方法]

1 台目のハードディスク（①）に接続する場合

2 台目のハードディスク（②）に接続する場合

3 台目のハードディスク（③）に接続する場合

4 台目のハードディスク（④）に接続する場合

ご注意

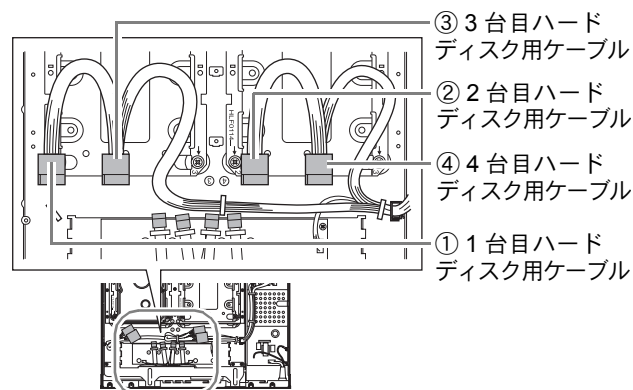
- ファンに当たらないように整形してください。

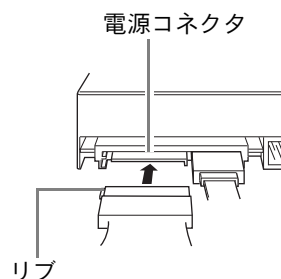
(3) ケーブルをハードディスクの S-ATA 端子に接続します。

ご注意

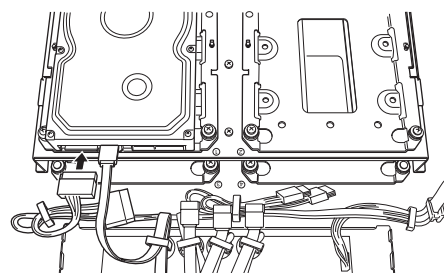
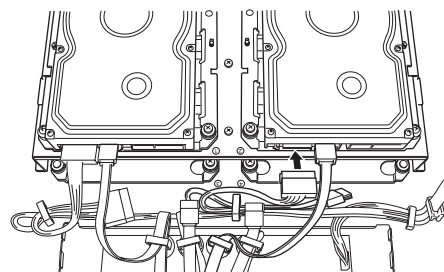
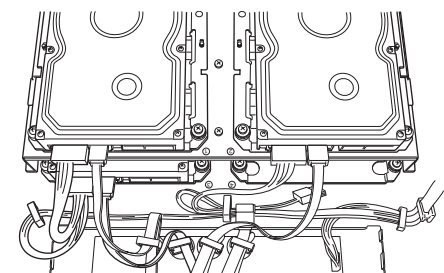
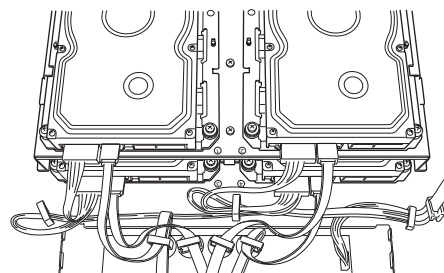
- リブの向きを確認してから、コネクタを挿入してください。

6 電源ケーブルを接続する

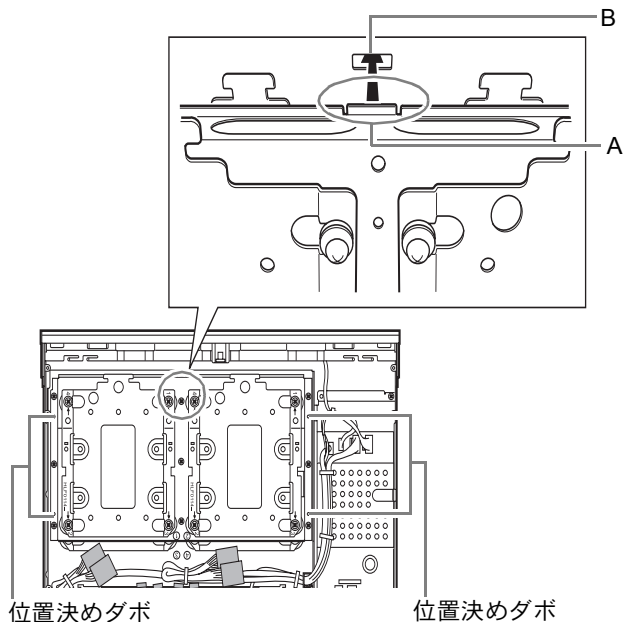
(1) 手順 5 で取付けたハードディスクと同じ番号の電源ケーブルを選び、マイナスドライバーなどで固定しているクランプを外します。

※ ケーブルの番号は次の図を参照してください。

(2) ケーブルがファンに接触しないように、再度クランプ 2ヶ所で固定します。

(3) ケーブルをハードディスクの電源コネクタに接続します。

[ケーブルの整形方法]

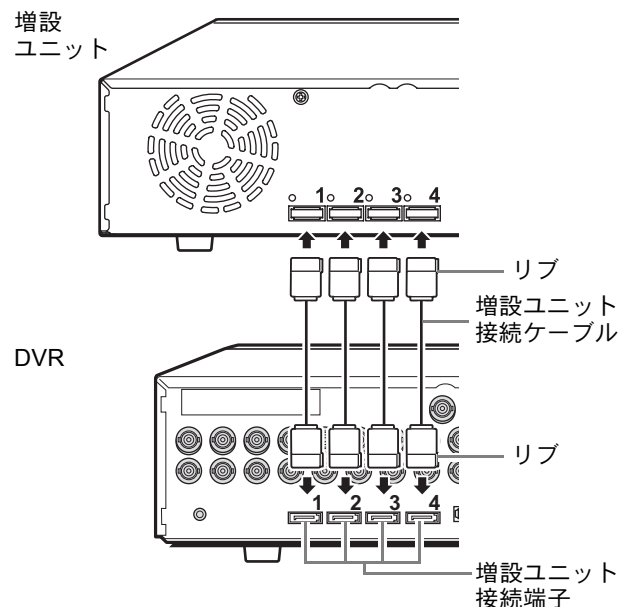
1 台目のハードディスクを①の場所に取付けた後

2 台目のハードディスクを②の場所に取付けた後

3 台目のハードディスクを③の場所に取付けた後

4 台目のハードディスクを④の場所に取付けた後

メモ

- ハードディスク を 3 台以上増設する場合は、③④に取付けた後、手順 2 で外した取付けブロックを取付け、①②に残りのハードディスク を取付けてください

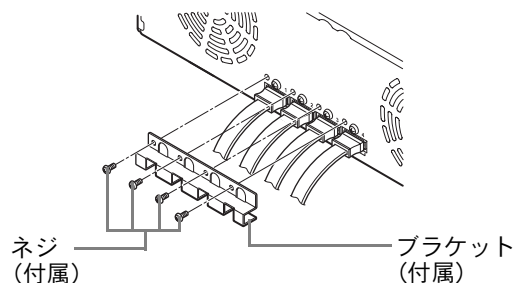
[取付けブロックの取付け方法]
前側中央をスライドさせながら、A 部の突起を B 部の穴に差し込み、左右の位置決めダボを 2ヶ所ずつ合わせて、ネジを 9ヶ所固定してください。
※ A 部の突起を差し込まなければ、ハードディスク取付けブロックを正しく取付けることができません。
※締め付けトルク：0.6N・m 〜 0.7N・m（6 〜 7kgf・cm）

7 ハードディスクの取付けが完了したら、ステップ 1 と逆の手順で、カバーを閉じる

DVR との接続

DVR と増設ユニットを接続する方法について説明します。

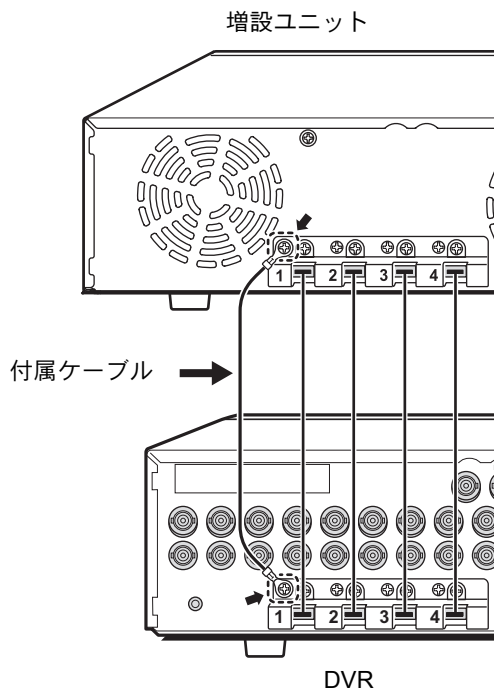
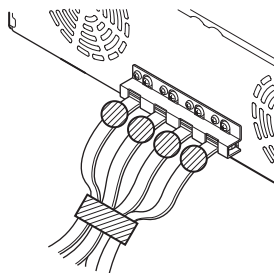
1 同梱の増設ユニット接続ケーブル4本を、増設ユニットと DVR に接続する

ご注意

- ハードディスクの増設が 1 台〜 3 台の場合でも、増設ユニット接続ケーブルは必ず 4 本すべてを接続してください。
- 増設ユニット側と、DVR 側の端子の番号が対応するように取付けてください。

2 増設ユニット接続ケーブルを付属のブラケットで固定する

メモ

- 増設ユニット側を固定したら、DVR 側も同様に付属のブラケットで固定してください。

3 スパーク防止用ケーブルの接続

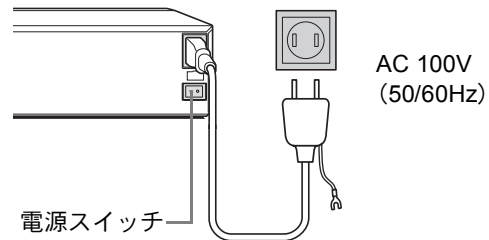
スパークを防ぐために、増設ユニットのブラケットと DVR のブラケットに付属ネジで付属ケーブルを取り付けてください。

4 増設ユニット接続ケーブルに付属のフェライトコアを取付ける

◎ ： フェライトコア（丸形）
各コネクタ近くで取付け

▨ ： フェライトコア（四角形）
増設ユニット接続ケーブルを束ねて、増設ユニットと DVR を結ぶケーブルの中央部分に 1 個取付け、増設ユニット側フェライトコア（丸形）から 7cm ぐらいの位置にフェライトコア（四角形）1 個を取り付け

メモ

- DVR側にも同様に付属のフェライトコア（丸形4個と四角形 1 個）を取付けてください。

電源の入れかた

1 増設ユニットと DVR の全ての接続が終わったら、AC100V を確認して、増設ユニットの電源プラグをコンセントに差し込む

2 増設ユニットの電源スイッチを ON にする

3 DVR の電源を入れる

ご注意

- 増設ユニットのハードディスク認識のため、必ず始めに増設ユニットの電源を入れてから DVR の電源を入れてください。

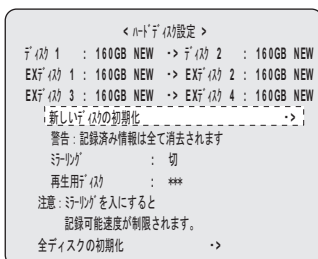
ハードディスクの初期化

ハードディスクの初期化は DVR 本体の設定画面でおこないます。
DVR に内蔵されたハードディスクの容量はディスク 1、ディスク 2 に、増設ユニットのハードディスクの容量は EX ディスク 1 ～ 4 にそれぞれ表示されます。

ご注意

- ハードディスクを増設した場合は必ず初期化を行ってください。
- ハードディスクを増設する前に、記録されている大切な映像はコンパクトフラッシュカードなどに保存してください。

電源投入時にハードディスクを初期化する

1 電源を入れると〈ハードディスク設定〉画面が表示されます

新しいハードディスクには、HDD の容量の右側に“NEW”と表示されます。

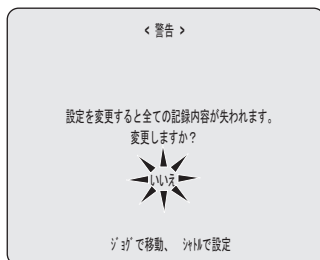
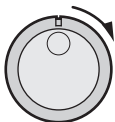
< ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ設定 >
ﾃﾞｨｽｸ 1 : 160GB NEW -> ﾃﾞｨｽｸ 2 : 160GB NEW
EXﾃﾞｨｽｸ 1 : 160GB NEW -> EXﾃﾞｨｽｸ 2 : 160GB NEW
EXﾃﾞｨｽｸ 3 : 160GB NEW -> EXﾃﾞｨｽｸ 4 : 160GB NEW
新しいﾃﾞｨｽｸの初期化 ->
警告：記録済み情報は全て消去されます
ﾐﾗｰﾘﾝｸﾞ : 切
再生用ﾃﾞｨｽｸ : ***
注意：ﾐﾗｰﾘﾝｸﾞを入にすると
記録可能速度が制限されます。
全ディスクの初期化 ->

新しく増設したハードディスクを初期化する場合は、“新しいディスクの初期化”を選択します。
接続しているすべてのハードディスクを初期化する場合は、“全ディスクの初期化”を選択します。

メモ

- ミラーリングが入に設定されているときに、ミラーリングがおこなわれます。

2 シャトルダイヤルを右に回す

〈警告〉画面が表示され、“いいえ”が点滅します。

3 ジョグダイヤルを回して“はい”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

“ハードディスク初期化中 !”の画面が表示され、ハードディスクが初期化されます。
初期化が終了すると、Live 画像になります。

使用中のハードディスクを初期化する

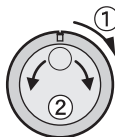
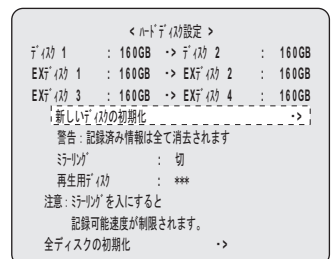
1 [メニュー] ボタンを押す

メニューランプが点灯し、〈メイン メニュー〉画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して“3. 一般設定”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

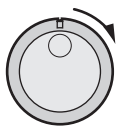
〈一般設定〉画面が表示されます。

3 ジョグダイヤルを回して“5. ハードディスク設定”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

〈ハードディスク設定〉画面が表示されます。

新しいハードディスクには、HDD の容量の右側に“NEW”と表示されます。

新しく増設したハードディスクを初期化する場合は、“新しいディスクの初期化”を選択します。
接続しているすべてのハードディスクを初期化する場合は、“全ディスクの初期化”を選択します。

4 シャトルダイヤルを右に回す

〈警告〉画面が表示され、“いいえ”が点滅します。

5 ジョグダイヤルを回して“はい”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

“ハードディスク初期化中！”の画面が表示され、ハードディスクが初期化されます。
初期化が終了すると、〈ハードディスク設定〉画面に戻ります。

終了/画面表示

6 [終了 / 画面表示] ボタンを押す

設定が完了し、通常の画面に戻ります。

終了/画面表示

メモ

- ステップ 3 の画面で、ミラーリングを入に設定した場合は、ミラーリングがおこなわれます。ミラーリングは、以下の組み合わせでおこなわれます。
  ・EX ディスク 1 と EX ディスク 2
  ・EX ディスク 3 と EX ディスク 4

付録

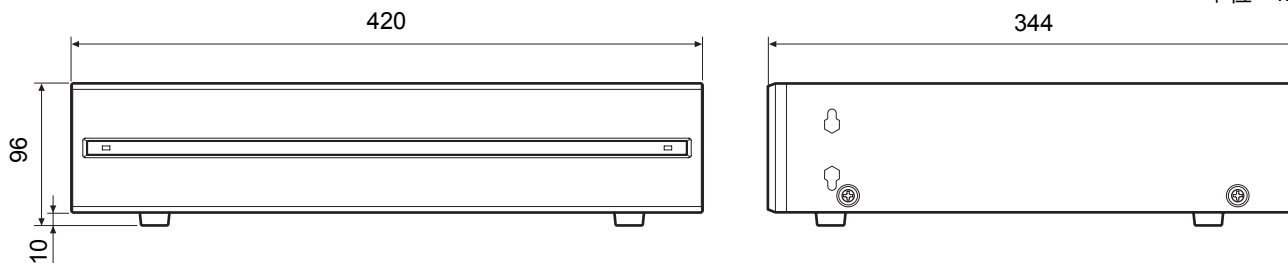
仕様

品　名	増設ユニット
品　番	VA-ZU1000
EMC 規格	電気用品安全法準拠
安全規格	電気用品安全法準拠
データ二重化	ミラーリング可能
ハードディスクベイ	3.5 インチ x 4
端子	増設ユニット接続端子（7 ピン）x 4
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	48W
使用可能周囲温度	5 ～ 40 ℃
使用可能周囲湿度	10 ～ 80％
外形寸法	420（W）x 86（H）x 344（D）mm（突起部、ゴム足含まず）
質　量	ハードディスク未搭載時 6kg、1 台搭載時 6.6kg、2 台搭載時 7.2kg
付属品	電源ケーブル x 1、増設ユニット接続ケーブル x 4、スパーク防止用ケーブル x 1、 ケーブル固定用ブラケット x 2、ブラケット固定ネジ x 8、フィクサー x 1、フェライトコア（丸形）x 8、 フェライトコア（四角形）x 3、取扱説明書 x 1

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

その他

寸法図

単位：mm

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
保証書は販売店（または工事店）でお渡しいたします。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から 1 年間です

- 正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店（または工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機（増設ユニット）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■ 補修用性能部品について

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8 年保有しています。
なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店（または工事店）にご連絡ください。

(1) 故障の状況（できるだけくわしく）
(2) 品名と品番（増設ユニット VA-ZU1000）
(3) お買い上げ年月日（保証書に記入）
(4) 製造番号（保証書に記入）
(5) お名前、おところ、電話番号

修理相談窓口

受付時間　月曜日～金曜日　9：00～18：30
土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります。

三洋コンシューママーケティング株式会社

◆東コールセンター　東京　☎(03) 5302-3401
◆西コールセンター　大阪　☎(06) 4250-8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客様は、下記の電話をご利用いただけます。

◆東コールセンターへの転送電話番号
- 北海道地区　札幌　☎(011) 833-7888
- 東北地区　仙台　☎(022) 382-2213
- 長野地区　長野　☎(0263) 26-1772
- 新潟地区　新潟　☎(025) 285-2451
- 福島地区　福島　☎(024) 945-6811

◆西コールセンターへの転送電話番号
- 北陸地区　金沢　☎(076) 237-6650
- 東海地区　名古屋☎(052) 979-3456
- 中国地区　広島　☎(082) 293-9333
- 四国地区　高松　☎(087) 844-8321
- 九州地区　福岡　☎(092) 922-9311

◆沖縄地区　沖縄　☎(098) 944-5018
受付時間　月曜日～土曜日
(日曜日、祝日、および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:30

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	
電話番号	(　　) －

修理相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

修理相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>
- 修理相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

三洋電機システムソリューションズ株式会社

システム事業ビジネスユニット　ビジネス東京営業部　CCTV東日本営業所
〒113-0033 東京都文京区本郷3-22-5　☎ 東京 (03) 5803-3545

システム事業ビジネスユニット　ビジネス事業推進部　CCTV推進課
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1　☎ 大東 (072) 870-6133

三洋電機株式会社

パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー　CCTVソリューションビジネスユニット
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1　☎ 大東 (072) 870-6277

この取扱説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

1AC6P1P2946-A
L8HCB/JP (0705TR-SY)